

## 白ネギ栽培におけるハイフミン ハイブリッドG施用試験結果(平成24年(秋～冬))

ハイフミン ハイブリッドG	=	腐植質土壌改良材(木質泥炭 + ピートモス + フモエキス)	+	有用微生物 (トリコデルマ菌 + バチルス菌)
---------------	---	--------------------------------	---	-------------------------

### 1. 目的

微生物資材ハイフミン ハイブリッドGの腐植による根づくり効果と有用微生物による連作障害の軽減効果による健全生育を確認する。

### 2. 概要

試験場所： 埼玉県深谷市  
品種： 夏扇4号  
施用量： 10a当り150kg(10袋)相当  
施用方法： 畝間に施用し、培土時に土と一緒に土寄せ  
施用： 平成24年10月

### 3. 試験区画

- ①無施用区
- ②施用区(10月)

### 4. 試験結果

写真-1



写真-2



(写真-1) 中央の畝を境に左が無施用区、右が施用区である。無施用区では連作障害の発生が見られた。また葉先の枯れも目立ち、全体的に葉色も薄いようであった。施用区は欠株も少なく全体的に葉色も濃かった。健全な生育で揃いも良かった。

(写真-2) 無施用区での連作障害による欠株の状況を示した。引き抜くと、ほとんど根が無いものが多かった。

掘り取りによる根の調査、秀品率の確認はしていないが、いずれも施用区が上回っていると思われた。また、施用区のネギの揃いが良いことから収穫後の作業性も良好であった。

これらはハイフミンハイブリッドGの腐植による根張り向上の効果と有用微生物による土壌微生物相の改善効果によるものと推測された。

以上